

第27号

発行日 平成28年2月8日

発行元 みやぎっ子ルルブル

ルルブル通信

推進会議事務局

(宮城県教育庁教育企画室)

TEL(022)211-3616



ルルブル企業セミナーを開催しました！

平成27年12月1日(火)、エルパーク仙台・セミナーホールで「ルルブル企業セミナー」を開催しました。



川島隆太教授

はじめに、東北大学加齢医学研究所所長の川島隆太教授から「ルルブルとワーク・ライフ・バランス」をテーマに解説をいただき、「ルルブル」は子どもだけでなく大人にとっても重要であり、**個人のワーク・ライフ・バランスを整えるためには、企業全体で取り組む必要がある**ことなどのお話がありました。

次に、内閣府少子化社会対策大綱を踏まえた結婚・子育て支援の推進に関する検討会座長代理(民間シンクタンク研究部長)の渥美由喜氏から、「経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス」をテーマに講演をいただき、育児と介護をしながら働くというご自身の体験に基づいたお話や、ワーク・ライフ・バランスを取り入れた企業のメリット等をはじめ、大人のルルブル、特に「遊ぶ」は、**仕事に直結しない時間を作ることで、仕事に好影響を及ぼす**などのお話がありました。



渥美由喜氏

事例発表では、「ホシザキ東北株式会社」様から、男性の育児休暇取得率を高め、全国初の「プラチナくるみんマーク」の取得に至った経過などを、「株式会社ユーメディア」様からは、主要な女性社員の妊娠をきっかけに、育児休暇を取得できる制度や環境を整え、男性の育児休暇取得者第1号が出るまでに至った経過などの発表がありました。



ホシザキ東北様・ユーメディア様

その後、渥美氏を交えたトークセッションでは、2社の事例を踏まえ、**ワーク・ライフ・バランスに取り組むことで、社員の意欲や生産性の向上につながり、新規採用時の魅力にもなる**、等のお話がありました。

約90名の参加者が熱心に耳を傾け、活発な質疑応答が行われました。



会場の様子

ルルブルに社会全体で取り組むため、今後も様々なアプローチを検討していきます！



新会員紹介

みやぎっ子ルルブル推進会議の趣旨にご賛同いただき、

平成27年11月1日から新たに会員になられた企業・団体をご紹介します。

企業・団体名(登録順・敬称略)	
■ 株式会社ヒルズ	■ 源泉掛け流し温泉 まほろばの湯
■ 東北観光バス株式会社	■ ワタヒョウ株式会社
登録企業・団体数 合計375 (平成28年1月31日時点)	

「ルルブル企業セミナー」をきっかけに、会員登録の連絡をいただきました！

- みやぎっ子ルルブル推進会議では、**会議の趣旨にご賛同いただける登録会員を募集**しております。詳しくは、下記HP掲載の会議規約をご確認の上、[登録書様式](#)によりお申し込みください。
- ルルブルに関する取組事例や情報等がありましたら、下記までご連絡ください。



アニメむすび丸
©宮城県・フロンタージュ

担当：みやぎっ子ルルブル推進会議事務局(宮城県教育庁教育企画室)

TEL：(022)211-3616 Email：kyoikupp@pref.miyagi.jp

URL：<http://www.pref.miyagi.jp/site/ruruburu/>

みやぎっ子ルルブルフォーラムを開催しました！

平成28年1月24日（日）、「みやぎっ子ルルブルフォーラム」を夢メッセみやぎ本館会議棟で開催しました。

このフォーラムは、みやぎっ子ルルブル推進実行委員会が主催し、社会総ぐるみで基本的な生活習慣の定着を一層促進し、体験の機会を提供することを目的に開催したもので、前夜からの大雪にもかかわらず、約220名の皆様にご来場いただきました！



宮城県教育委員会教育長による開会の挨拶

みやぎっ子ルルブル推進優良活動団体表彰



受賞団体の皆様、おめでとうございます！

<受賞団体>

【保育所・幼稚園部門】 4 団体

登米市立北方幼稚園 大崎市池月保育所
大崎市岩出山保育所 大崎市岩出山保育所真山分園

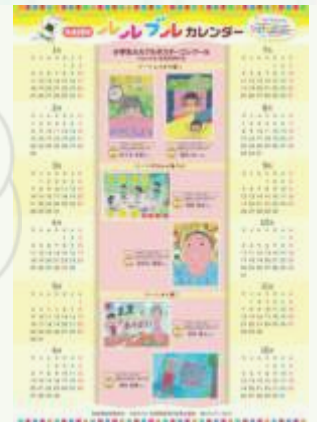
【小学校・中学校部門】 13 団体

仙台市立将監小学校 山元町立坂元小学校
栗原市立栗駒小学校 蔵王町立永野小学校
川崎町立川崎小学校 柴田町立東船岡小学校
大和町立吉岡小学校 石巻市立鹿又小学校
栗原市立宮野小学校 気仙沼市立小原木小学校
仙台市立東華中学校 仙台市立南小泉中学校
気仙沼市立大谷中学校

小学生ルルブルポスターコンクール表彰



金賞受賞者の作品はポスターにして、県内の各幼稚園・保育所・小学校等に配布しました。



<入賞児童>

(下学年の部)

【しっかり寝る部門】

金賞 大和町立吉岡小学校 2年 佐々木 紅愛
銀賞 名取市立ゆりが丘小学校 2年 伊澤 昌家
銅賞 大崎市立古川第五小学校 3年 西村 心花

金賞 塩竈市立玉川小学校 6年 横田 あい
銀賞 加美町立中新田小学校 6年 阿部 蒼汰
銅賞 柴田町立槻木小学校 4年 今野 祐里

【きちんと食べる部門】

金賞 大郷町立大郷小学校 1年 西岡 美紅
銀賞 大河原町立金ヶ瀬小学校 3年 佐藤 隆洋
銅賞 加美町立中新田小学校 2年 半澤 美礼

金賞 仙台市立南中山小学校 4年 長谷川 龍聖
銀賞 仙台市立大野田小学校 4年 田村 優弥
銅賞 仙台市立古城小学校 4年 川村 麗苒

【よく遊ぶ部門】

金賞 加美町立中新田小学校 2年 岩松 楼心
銀賞 多賀城市立多賀城小学校 3年 尾花 心優
銅賞 宮城教育大学附属小学校 3年 長澤 幸来

金賞 加美町立中新田小学校 5年 岩松 里愛
銀賞 多賀城市立天真小学校 5年 狩野 幸太
銅賞 塩竈市立玉川小学校 4年 平井 優花

(上学年の部)

基調講演 東北大学加齢医学研究所所長 川島隆太教授

「脳科学とルルブル」と題し、夜 10 頃に深い眠りについでいることで成長ホルモンが十分に分泌されるため、夜 9 時には眠ることが大切との話があったほか、ご飯やパンなどの主食だけでは脳が十分働かず、おかずまでしっかり食えること、特に朝食が重要、などのお話がありました。

ルルブルに、家族みんなで、そして社会全体で取り組みましょうとメッセージをいただきました。



分かりやすいお話に、皆引き込まれていました。

特別対談 川島隆太教授 × 千葉真子さん



共感や感心で、会場が沸く場面もありました。

「Let's ルルブル～親子で豊かな体験を～」と題し、川島教授と元日本代表マラソンランナーの千葉真子さんに対談していただきました。

親子で一緒に遊び、掃除や料理を子どもと一緒に楽しむことを大切にしている千葉さん、特に幼児期の親子の触れ合いは大切と川島教授からお話がありました。

また、2020 年の東京オリンピックでメダリストを出すため、「ルルブルで宮城県から金メダル」を合い言葉に頑張りましょう、との言葉もいただきました。

社会体験コーナー・キッズコーナー・ブース出展



写真の撮影会もありました(まみたん) ↓



温かいキッズコーナーと、社会体験コーナーも大人気



御来場
ありがとう
ございました！



平成 26 年度 みやぎっ子ルルブル推進優良活動団体 取組紹介⑤・⑥ (全 8 回)

昨年度、みやぎっ子ルルブル推進優良活動団体として 25 団体が表彰されました。
今回は県内の小学校 5 校をご紹介します。

巨理町立巨理小学校

～ チャレンジ！『自分づくり』 進んで「家庭学習」・
進んで「あいさつ」・進んで「外遊び」 ～



取組の内容

学校栄養士・栄養教諭と担任が連携して食育指導を行っているほか、給食後に約 4 分間音楽に合わせて全校で歯磨きを行うなど、「歯磨き奨励・励行」に取り組んでいます。平成 26 年度は、全国 4 か所の小学校をインターネット放送でつないだ「学童歯磨き大会」に参加し、クイズ形式で正しい歯磨きの仕方を学びました。

また、「進んで家庭学習」「進んであいさつ」「進んで外遊び」というチャレンジ目標を設定し、週 1 回学級毎に輪番で児童や地域住民にあいさつする「あいさつ運動」に取り組むほか、業間に奇数学年と偶数学年に分かれて、持久走や縄跳び等に取り組んでいます。

取組の成果



給食の残食量が減ったほか、他の地域や学校の児童が歯磨きをする様子を見たことで、普段の歯磨きに対する意識が高まり、磨き方もより丁寧になってきました。

また、進んであいさつする児童の姿が校内外で多く見られることや、休み時間になると校庭へ出て、運動や外遊びをする児童が多く見られることなど、異学年児童とも良好な人間関係が形成されています。

村田町立村田第二小学校

～ 元気いっぱい 笑顔いっぱい 輝け！ぬまべっ子！！ ～

取組の内容

各種おたよりを通して、「はやね・はやおき・あさごはん」の重要性を全校児童や保護者に啓発するほか、学校での啓発活動をブログで紹介しています。(<http://numabe2.blog59.fc2.com/>)

また、全学年が学校菜園で野菜を栽培し、収穫した野菜等を使った学校給食を実施するほか、地域の支援団体の積極的な協力により、米作り(田植え、稲刈り、脱穀)や昔の遊びの体験活動を行っています。

さらに、体育朝会や児童会で、全校児童が縦割りで行っています。



取組の成果

基本的な生活習慣を意識して取り組んでいる家庭が多くなっており、苦手な物があっても給食を残さず食べようとする児童が増えたほか、農業体験を通じて食材への関心が高まり、食べ物を大切にしようとする態度が形成されてきています。

また、学年や男女を問わず、校庭で活発に体を動かす児童が多く見られるようになりました。

大衡村立大衡小学校

～ 主体的に「食」にかかわろうとする子の育成
「かしこく」「やさしく」「たくましく」 ～

取組の内容

保護者に対して行った生活習慣アンケート結果を基にした栄養指導を実施しているほか、地域と連携した「教育ファーム」(畑・田)などを活用した体験活動を行い、生産者を招いて給食交流会を実施しています。

また、異学年との縦割遊びや業間活動としてマラソンや縄跳びを実施しているほか、森林インストラクターの指導のもと、学校周辺のピオトープや里山での外遊び等を行っています。



取組の成果

朝食を食べて登校する児童や好き嫌いがあっても残さず食べる児童が増えているほか、異学年との交流が活発に行われ、外遊びや運動をする児童が増えています。

また、地域との関わりを通じ、地域を愛する心や感謝する気持ちが芽生えつつあります。

石巻市立飯野川小学校(旧:飯野川第一小学校)

～ すべての土台は生活習慣 ～

取組の内容

河北地区父母教師会と連携し、地域ぐるみで「9時寝る運動!」に取り組んでいます。

また、長年(33年目)実施している「かしわ祭り」(収穫感謝祭)や、食育通信によって朝食の大切さとバランスのよい食事について保護者・児童に周知しているほか、毎日給食後に全校児童で歯磨きを行い、養護教諭によるブラッシング指導を各学年3～4人の小グループに分けて全校児童を対象に計画的に行っています。

さらに、6年間継続して「運動大好きパワーアップカード」を活用し、マラソン・縄跳び・水泳を級別にして自分の体力の変化を意識させています。



取組の成果

校名は変わっても取組は継続され、「はやね・はやおき・あさごはん」を意識して取り組んでいる家庭が多くなっており、食後には歯を磨くという習慣を級友と一緒に楽しく身に付けることができている。

また、カードの活用により、目標達成に向けて進んで運動する児童が増えています。

登米市立上沼小学校

～ 4C(Chance Change Challenge Champion) ～

取組の内容

登米市健康推進課と連携した「すこやかキッズ教室」にて、おやつのカロリー量や運動で消費するカロリー量についての保健講話を実施しています。

また、ドッジボールコートやケンパーロードを常設し、日常的に運動しやすい環境を整えているほか、あいさつ運動を年間を通して実施し、分かりやすいフレーズ(「いつでもどこでも誰とでも」「目を見て止まってはっきりと)」であいさつの仕方を習慣化しました。

さらに、PTAと協力したノーテレビ・ノーゲームデーを毎週月曜に設定・実施しています。

取組の成果



児童自らおやつに気をつけたり、自分の生活を見直したりするようになりました。

また、日常的に運動しやすい環境を整えたことにより、児童が進んで外で遊ぶ姿が見られているほか、地域の方々からお褒めの言葉が伝えられるほど、あいさつが定着してきました。

ノーテレビ・ノーゲームデー等、ようやく意識の芽が出てきつつあります。